



# 山火事の防止にご協力を!!

毎年雪解けとともに全道的に山火事が発生し、貴重な緑の資源が失われています。この時期は農作業などで火を扱うことや山菜採りなど森林と接する機会が多くなる季節です。大切な人命や貴重な緑の資源を守るためさまざまな取り組みが行われています。

## 春は火災発生の多い季節

平成14年から18年の5年間の統計によると、全道で150件発生した林野火災のうち101件、約88%が3月から5月に集中。胆振管内でも32件のうち28件が同時期に起きています。

その原因として、春先は空気が乾燥し山火事が発生しやすくなっている中で野焼きや山菜採りに山に入ることが多くなり、人のマナーが指摘されています。

統計上でもマッチやたばこの不始末や、ごみ焼किが火災原因となっているとのことでした。

## 林野火災予防強調月間を設定

今年2月22日に札幌管区気象台は3月から3か月間の胆振地域の天候の見通しを発表しました。平均気温は平年より高くなる確率が40〜50%と発表。4月以降の天気は数日の周期で変わり、気温は平年より高くなる確率が50%のことです。また降水量は平年より少なくなると報じています。

このように、これから気温が高く降水量が少ない場合は、乾燥する時期が早まる可能性が高くなり、例年以上に防火

## 林野火災発生状況

● 月別出火状況			● 年別被害状況		
	胆振管内計	全道計		胆振管内計	全道計
1月	0件	0件	H14年	6件	40件
2月	0件	0件	H15年	5件	40件
3月	3件	4件	H16年	12件	23件
4月	17件	42件	H17年	5件	16件
5月	8件	65件	H18年	4件	31件
6月	0件	12件	合計	32件	150件
7月	1件	9件			
8月	2件	4件			
9月	0件	3件			
10月	0件	4件			
11月	1件	6件			
12月	0件	1件			
合計	32件	150件			

(平成14年～18年集計)

(平成19年林野火災予防標語・ポスター)

**林野火災 人の思いも燃えつきる**



の意識を早めにつづることが必要です。また、この時期は気圧配置の影響で強風が吹くことが多くなります。胆振支庁は4月10日から5月31日までを「林野火災予防強調月間」と定め、予防対策を効果的に推進することになりました。

安平町でも林野火災予防

会議を開催し、関係機関や団体などと連携を図りながら防火パレードをはじめ、一人暮らしの高齢者世帯を対象に点

